

ブラジル、サントス

Victor Augusto Mendes

2017年8月、私は広島で開催された青少年国際平和未来会議に参加しました。学術会議には、いくつか参加したことはありましたが、このような会議には参加したことがありませんでした。特に2017年には、国際舞台で激しい紛争が起こっています。9月3日には北朝鮮が6回目の核実験をおこない¹、ヨーロッパでは政治的な移民危機が起こり²、中東では人道に反した強制退去問題が起こっています。^{3, 4}

このような状況で、平和会議に行くことは大変でしたし、特にこのような国際情勢においては平和について軽い気持ちで議論するべきではないと思いました。そして会議に参加することへの大きな責任を感じていました。暗き時代には、また日が照ってくれる時の備えをしなければなりませんし、また日が照ってくれることを願わなければなりません。あらゆる分野が一緒になって働きかけた結果、得ることができる平和の文化への第一歩とは、人類は平和を作り出すことができると気付くことなのです。戦争とは私達の遺伝子に埋め込まれているものではなく、文化によって生まれるものだからです。⁵ 私達は戦争を創り出しました。ですから、平和も創ることができるはずです。平和の文化を育む事は、みんなの利益であると(たとえ目の前にある物質的な利益がみんなの共通の利益でないとしても)、グローバルかつ本当の意味で普遍的に認識するには時間がかかるでしょう。しかし、それは真実なのです。なぜなら、私達は自分の利益を追求するために生きているはずです。もし私達の生活が成り立たなくなったり、人々、州、政府が長期にわたり利益を追求できなくなったりするならば、みんな戦争には関心が無くなるからです。

1. GATOPOULOS, A. ALJAZEERA. Three things to know about North Korea's missile tests. (北朝鮮のミサイル実験に関して知っておくべき3つの事項) 2017年9月3日オンライン/引用元: <

<http://www.aljazeera.com/indepth/features/2017/07/north-korea-missile-tests-170706081545433.html> >. 2017年9月11日アクセス

2. BBC. **Migrant crisis: Migration to Europe explained in seven charts.** (移民危機: ヨーロッパへの移民。7つの図解) 2016年3月4日オンライン/引用元: <

<http://www.bbc.com/news/world-europe-34131911> >. 2017年9月11日アクセス

3. The Globe and Mail: The great displacement: **Middle East now has more migrants than Spain has people.** (現在、中東にはスペインよりも多くの移民がいる) 2016年10月18日オンライン/引用元: <

<https://beta.theglobeandmail.com/news/world/migrants-in-the-middle-east-pew-research-report/article32408673/?ref=http://www.theglobeandmail.com&> >. 2017年9月11日アクセス

4. ARAR, R; HINTZ, L; NORMAN, K. P. The Washington Post. **The Real refugee crisis is in the Middle East, not Europe.** (本当の難民危機は、欧州でなく中東で)2016年5月14日/引用元: <

https://www.washingtonpost.com/news/monkey-cage/wp/2016/05/14/the-real-refugee-crisis-is-in-the-middle-east-not-europe/?utm_term=.29d147b35c5a > 2017年9月11日アクセス.

5. ADAMS. D. **Moving from a Culture of War to a Culture of Peace.** (戦争の文化から平和の文化への移行)New York, Fellowship Magazine: 2002. 引用元: <

<http://www.culture-of-peace.info/vita/2002/moving.pdf> >. 2017年9月11日アクセス

私達がアイデアをどんどん重ねていくことで、将来どのように適用していくか見えてくるはずですが、例えば、武力競争のためではなく、人類の発展のための効果的な核軍縮と資源の有効利用などです。つまり、効果的にグローバルな活動をするために必要な下準備とは、知識を集め、文化交流を促進し、人々の相互理解を進めることです。

このことについても一部、私達は広島の青少年会議で学びました。その街の歴史と経験を共有することは平和に関するグローバルな認識を構築するために必要です。私達は戦争と武力競争を、集団的に、そしてグローバルな形で非難しなくてはなりません。それぞれが個別におこなう活動ではあまり変化はありませんが、みんなが一体となればより強くなることができるはずですが。私達、それぞれの参加都市の代表者は、それぞれの地元の状況やニーズに合わせて、広島で学んだポジティブな経験を取り入れていかなくてはなりません。そして、それは世界の各都市で同時に展開していくべきです。そのような行動の具体的な結果を世界が認識できるようになるには、時間がかかるかもしれません。しかし、最終的かつ必然的には、科学、教育、意識のように、具体的な結果がでるはずですが。

私の願いの1つは、そのような素晴らしい交流経験や報告が、多くの人や他の世代にも伝えられていくという事です。私達は平和と戦争に関する意識を高めなければなりません。紛争や戦争について討論することが比較的簡単で、平和についての討論はかなり難しいと感じるのではないのでしょうか。それに気付けば、平和についての認識という面では、いかに私達が未熟であるかを知ることができるでしょう。戦争自体について議論することが簡単そうに思えることからすると、すべての人々の見解において、平和というものが稀な物に見えるというのは悲しいことです。「戦争」という言葉でイメージをオンライン検索してみてください。そしてその後、「平和」で検索してみてください。「戦争」で検索すると、沢山の例が出てきますが、「平和」での検索結果は、比較的少ないようです。

平和に関する意識を育てることは、簡単ではありませんが、理想だけの目標ではありません。実際に可能なことなのです。コミュニケーションと教育は、効果的な具体的行動であり、平和文化の構築を促すために大切なことです。一番シンプルに言うと、部屋と聞く

人があれば良いのです。私達の仕事は、このような条件を取りまとめ、考えや実際の行動につなげていくことです。それが平和に一步步近づいていくことなのです。

この点において、広島で開催された会議は非常に効果的なものでした。協力、文化交流を推進したからです。自分自身のことも、それぞれの違い、そして似ている点をより知ることができました。私達はこの会議で、私達の目的について話し合い、私達には違いはあるけれど、平和的に共存しやすくすることで、相互理解につながるということに何度も気づかされました。これらの教えは、グローバルな平和を促進していくための要素として、とても貴重なものです。参加できて本当に恵まれていると感じています。会議で、世界各国から来た多くの友を作ることができ、彼らの文化も知ることができました。そして、バックグラウンドや出身、国に関わらず、とてもデリケートな議題についても平和的に討論できるということも学びました。私達は、太陽系に存在する塵のうちの1つ、地球という惑星で生活を共にしており、国籍、地理、違いに関わらず平和に暮らしています。

ブラジルに戻ってから、私は広島で学んだメッセージや教訓を伝えるため、いくつかのイベントに参加しました。また、帰国から数週間後に私が通う大学の学生にも、私の経験を伝えました。9月27日、IYCPF2015 および 2017 についての討論会が、国際関係についての学術イベントで開催され、今までの IYCPF と広島交流プログラムにサントスから参加した人達が出席しました。それ以来、大きなイベント、そして友人、学生、研究者との会話という様々な状況で、広島での私の経験を共有する機会を持つことができました。一番の目標は、平和、文化的共存、核兵器や世界平和に関する問題について、地域で積極的に全体的な意識づけをしていくことだと考えています。

本当の世界平和が達成されることによる利点と必要性を十分に人々に教育し、認識させることで、リーダー、そして各国が、より平和的な行動を求め、推進することを期待しています。もし、いつか私達の誰かがクラス、会社、研究所、都市、または国の指導者になることがあれば、その際、その価値を信じて、みんなで一緒にヒロシマ・アピール 2017 を書いた日々を思い出すことが必要ですし、それと並行して、私達や私達が代表した人々のためになることを生活の各所に適用していくことが必要です。